

避難時の心得

- ① 浸水や土砂災害のおそれがある場合は、早めに安全な場所に避難しましょう。
- ② 低地帯、増水した川、がけなど、危険な場所には近づかないようにしましょう。
- ③ 少しでも危険のある場所は避けて避難しましょう。道路が冠水している場合、10cm程度（くるぶしまで浸水）でも、大きな木などが流れてきたり、側溝や水路の位置がわからなくなったりするおそれがあります。また、がけの近くでは、最初は小石程度の落石でも、突然大きながけ崩れが起きるおそれもあります。
- ④ 夜間で視界が悪い場合や自宅の周辺がすでに浸水している場合など、屋外へ出るとかえって危険な時は、建物の2階やがけと反対側の部屋など少しでも安全な場所へ避難しましょう。



避難準備・高齢者等避難開始

「避難準備・高齢者等避難開始」とは、洪水や土砂災害などにより、避難が必要になると予想されるとき、速やかに避難できるように準備を促すものです。

- ▶ 避難に時間がかかる人（要配慮者など）は、避難を開始してください。
- ▶ その他の人は、家族との連絡や非常持ち出し品の用意など、避難の準備を開始してください。

避難勧告

「避難勧告」とは、避難を開始しなければならない段階で、人的被害が発生する可能性が高まっている状況です。

- ▶ 避難所などへの避難を開始してください。
- ▶ 避難を行うことにより人の生命または身体に危険が及ぶ場合には、屋内で待避するなど、身の安全を確保してください。



防災行政無線放送

気象警報発表時や、避難情報が発令された場合、防災行政無線でサイレン音を鳴らします。テレビやラジオなどの気象情報にも十分注意しましょう。

放送内容

（例）気象警報発表

（サイレン音 15秒）

こちらは防災海南市です。当地域に〇〇警報が発表されました。今後も気象情報に注意してください。

（例）避難情報発令

（サイレン音 15秒）

こちらは防災海南市です。ただ今、〇〇川沿岸に避難勧告が発令されました。今後〇〇川が氾濫する危険がありますので、〇〇川沿岸の方は、自宅や近隣の2階など安全な場所へ避難してください。

もしもの時に備えて 家族で話し合うポイント

- ① 非常持ち出し品や備蓄品を確認しましょう。また、飲料・食品の賞味期限、電池の使用期限などもチェックしましょう。
- ② 避難所を確認しましょう。
- ③ 自宅付近や地域の危険な箇所を確認しましょう。
- ④ 安全な避難ルートを確認しておきましょう。最短距離よりも、安全な道が第一です。
- ⑤ 子どもがいる家庭では、留守番をしているときや友達と遊んでいるときに災害が起きたらどうすればよいか、子どもと一緒に話し合しましょう。



集中豪雨から 大切な「命」を守るために

問 危機管理課（☎483・8406）

雨が多い季節になりました。近年、全国各地で台風の大雨や集中豪雨など河川の氾濫や土砂災害などが多発しています。

北海道や岩手県では、平成28年8月の台風10号で、河川堤防の決壊や高齢者施設への浸水などの甚大な被害が発生しました。

本市においても、昨年9月の台風16号により、道路の崩壊や通行止め、住家の床下浸水などの被害を受けました。自然災害は、いつおそってくるかわかりません。いざという時に備え、普段から家族や地域で防災について話し合っておきましょう。

平成28年8月の台風10号による被害状況（岩手県岩泉町）

大雨・暴風に備えて

▶ 住んでいる場所が河川氾濫の浸水想定区域に含まれるかどうかを、ハザードマップで確認しましょう。

▶ 日頃から、排水口や雨どいの中に溜まっているドロやごみを取り除いておきましょう。

▶ 暴風が予測される場合、事前に物干しや植木鉢などが風で倒れたり飛ばされないように固定したり、安全な場所に移動させましょう。

▶ 大雨による浸水に備え、土のう対策などの準備をしましょう。

土のう貸し出し制度

問 建設課（☎483-8485）

集中豪雨などによる住宅への浸水に備えて、事前に対策を行う人に、土のうの無料貸し出しを行っています。



土砂災害に備えて

▶ 住んでいる場所が「土砂災害危険箇所、警戒区域」などに含まれるかどうかをハザードマップなどにより確認しましょう。

▶ 水害・土砂災害の前兆現象を認識しておきましょう。土砂災害には、「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3種類があります。

▶ 雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。

土砂災害警戒情報とは

大雨で土砂災害発生のおそれが高くなった場合、県と和歌山地方気象台が共同で発表する重要な情報です。長雨や集中豪雨時にはテレビ、ラジオ、防災行政無線の放送にご注意ください。

※土砂災害警戒情報が発表されていなくても、土砂災害の前兆に気付いた時は、直ちに避難してください。

海 南市水害・土砂災害ハザードマップ作成

水害・土砂災害を対象に、河川の氾濫による洪水、大雨によるがけ崩れ・地すべり・土石流などの災害から市民の皆さんが迅速かつ安全に避難し、自ら身を守っていただくことを目的として作成しました（広報かいなん5月号と同時に全戸配布済）。普段から目につく場所に置いて、事前の備えやいざという時の対応をいつでも確認できるようにしておきましょう。

